

協働のまちづくりのための
ワークショップ
～ホームワーク用説明資料～

主催：東御市

ワークショップの趣旨

- ・今回実施するワークショップには、「東御市まちづくり審議会」「東御市行政改革審議会」「東御市市民まちづくり会議」の3つの会議体からご参加いただいております。
- ・再来年度(2023年度)に第3次総合計画を策定することから、まちづくりの課題の整理が必要とされています。
- ・また、行政改革推進計画が令和3年に改定されたことや、市民まちづくり会議にてまち全体の課題について話し合いを行っていることから、ともにまちづくりについて話し合うことで、様々な視点から総合的に現在の東御市の課題を整理できるのではないかと考えています。
- ・様々な立場の方からそれぞれに感じる課題を挙げていただき、整理するとともに、課題解決に向けてどのようなことができるのかを考えるためのきっかけになれば幸いです。

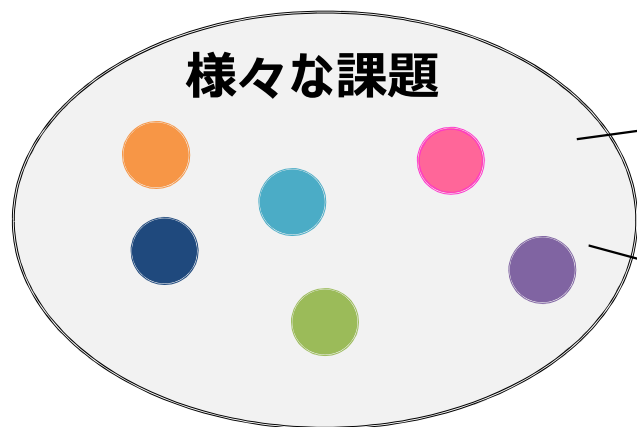
回数	開催日 (当初予定)	内容	講師
第1回	1月13日 (木)	東御市のまちづくりの課題洗い出し 課題解決されたまちのイメージ	特定非営利活動法人 SCOP
第2回	2月3日 (木)	課題解決されたまちのイメージに向けてできること	
第3回	2月22日 (火)	持続可能なまちづくりについて (2030SDGsカードゲーム)	丸山 亜紀 氏 (公認ファシリテーター)

第1・2回のワークショップの目的と進め方

●ワークショップ全体の目的

今回のワークショップにより、市民の視点から市が抱える課題を洗い出すとともに、市民と行政が力をあわせ課題解決に向けて何ができるのかを共に考えることを目的とする。

ワークショップを通して出された意見は、今後の総合計画や行政改革の推進、市民まちづくり会議等での検討の参考とする。



様々な課題の中から、行政がやるものとして、総合計画や行政改革に反映を検討していく

様々な課題の中から、市民も参画できるものとして、協働のプロジェクトや、民間が仲間を集めて実施を検討していく（今後、まちづくり会議で深堀していくことも可能）

●ワークショップ全体の進め方

	1回目WS
アウト プット	・東御市のまちづくりの課題洗い出し ・課題解決されたまちのイメージ



	2回目WS
アウト プット	・課題解決されたまちのイメージに向けてできること

2. ワークの概要

1回目のワークショップは、3つのグループに分かれて行いました。

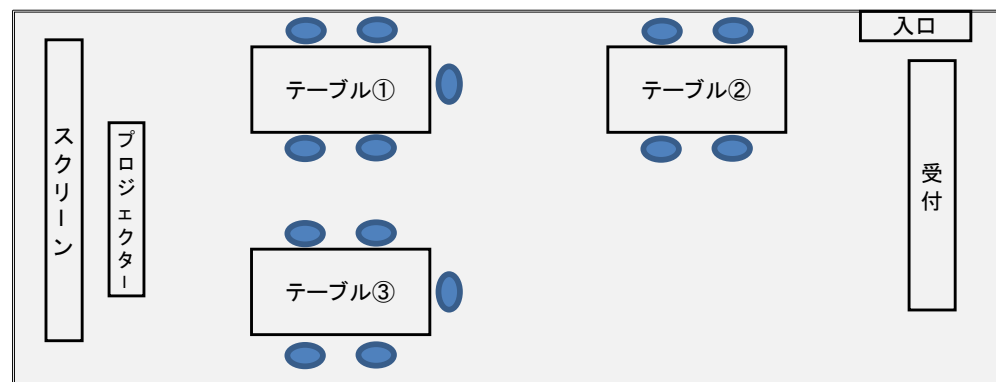
各グループにおいて、まず初めに、「みんなが困っていること」や「みんなが改善したいこと」などの、東御市のまちづくりの課題洗い出しを行いました。

続いて、挙げられた課題が解決された状態について意見を出し合い、みんなが「こんな東御市だといいな」と思う最終的なまちのイメージを考えました。

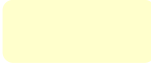


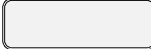

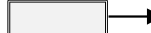
※当日の配置は右記の通りです。

各テーブルで出た意見は、次ページ以降にまとめます。
なお、まとめの見方は右記のようになっています。

【配置図】



【まとめの見方】

-  ⇒ 「みんなが困っていること」や「みんなが改善したいこと」などの、東御市のまちづくりの課題
-  ⇒ 挙げられた課題が解決された状態
-  ⇒ みんなが「こんな東御市だといいな」と思う最終的なまちのイメージ
-  ⇒ 対象者
-  ⇒ テーマごとの分類
-  ⇒ 分野に対する関係性

東御市がどのようなまちになってほしいですか？

テーブル：②

おでかけ/周遊しやすいまち

観光客

市民

◆ まちの玄関口として 駅周辺がにぎわっているまち

- ・しなの鉄道と東御市が連携して、観光客に向けた広報が行われている
- ・鉄道を活かして駅周辺が開発され、道路の整備や交通網の整備がされている
- ・電車の本数が増え、多くの人が駅を利用している

- 【公共交通（鉄道）に関する課題】
- ・ 交通の便が悪い（特にしなの鉄道）
 - ・ 本数が少ない

交通不便者

◆ 使いやすい暮らしの足が確保されているまち

- ・誰でも、家から歩いていける距離に停留所がある
- ・脚が悪い人のための福祉バスが運行している
- ・バスが土日や夜間でも定期的に走っており、外出しやすい環境が整えられている

- 【公共交通（デマンドバス）に関する課題】
- ・ 高齢になっても免許返納しにくい
 - ・ デマンド交通（レッツ号）が土日でも運行してほしい
 - ・ スマホで予約できるとよい

移動手段の充実

移住者

◆ 働く場所が確保されているまち

- ・移住者に対して、就労斡旋してくれる

“自分の場所”が確保され、居心地がよく、自分らしくいられるまち

若者

◆ 居場所が確保されているまち

- ・集まる場所や機会が多様にある
- ・オンラインを活用したコミュニケーションをとる場がつけられている

- 【困難を抱える若者の社会参加に関する課題】
- ・ なんでもなくても集まれるような居場所が少ない
 - ・ 若年層のひきこもりが多い
 - ・ 社会とのつながりが少ない
 - ・ 子どもの不登校の問題
 - ・ 家庭にいる人々（閉じこもり）の力を活用できないか

外出機会の創出

居場所がある/
仲間がいる

子ども

◆ 子どもが安心していられる場所が確保されているまち

- ・子ども食堂などの場所が充実している

- 【子どもの居場所に関する課題】
- ・ 小・中学生の居場所が少ない
 - ・ 学校の活用ができていない

住んでいる人が元気で、活発で、市民も観光客も楽しいと思えるまち

東御市ならではの楽しみが増える

色々な体験を通してまちに愛着をもてる

子どもから大人まで、色々な体験ができ、「東御市っていいな」と思えるまち

市民全体

◆ 地域内での協力により、地域づくりが進んでいるまち

- ・まちづくり協議会を中心に、地域間の交流が行われている
- ・市民コンサートや夜の会など、定期的に楽しめる場があり、まち全体で周知されている

- 【まちづくりに関する課題】
- ・ 5地区にまちづくりの協議会があるが、滋野では若い人の関わりの継続が少ない

子ども
市民全体

◆ 地域で子どもを育てるまち

- ・放課後など、子どもたちが友達と遊べる環境が整えられている

- 【子育て・家庭環境に関する課題】
- ・ 子どもたちが外で遊ばない
 - ・ 子どもたちのスマホづけ
 - ・ 登校するとき親の送迎が多い
 - ・ 親の意識やライフスタイルが変化している

◆ エコな移動手段として自転車の活用が進んでいるまち

- ・自転車の道が整備されている
- ・シェアサイクルがまち全体に設置されており、どこでも乗り降りができる
- ・まち全体で自転車の活用が進み、CO2削減を進んで実践している

- 【自転車に関する課題】
- ・ 自転車コースがない
 - ・ 道が悪いところあり
 - ・ 誰でも使える自転車がない
 - ・ シェアサイクル（モーター付き）があってもよい

観光客

市民

◆ 東御市ならではのお店やアクティビティが充実したまち

- ・東御市ならではのお店が、観光客に周知されている
- ・様々な地域資源が観光客に向けてPRされ、目玉となる観光スポットがある（例：ロックライミングの岩場）
- ・空き家を活用した民泊施設などが、観光客に利用されている
- ・普段使いのお店も充実している

- 【観光に関する課題】
- ・ 東御市内の魅力的な場所が利用されていない
 - ・ 湯の丸以外外部に知られていない
 - ・ 電車が下から見え、桜がきれいなスポットが活用されていない
 - ・ 岩場の利用ができる環境が整えられていない
 - ・ 個性的な店（パン屋等）が周知されていない
 - ・ 使える資源が十分把握されていない

- 【住まいに関する課題】
- ・ 商店街が寂しい
 - ・ 空き家が増えてきた

エコで楽しく、多様なコンテンツをみてまわれるまち

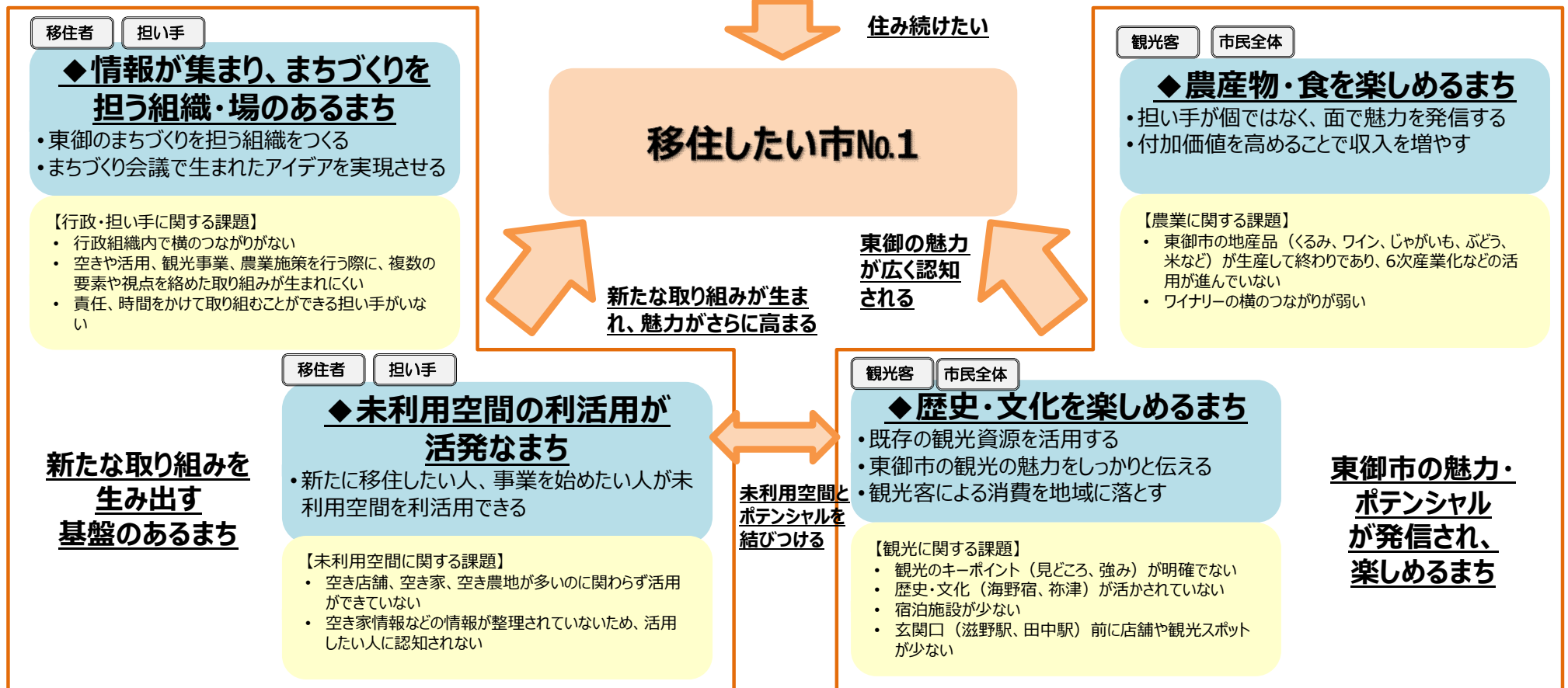
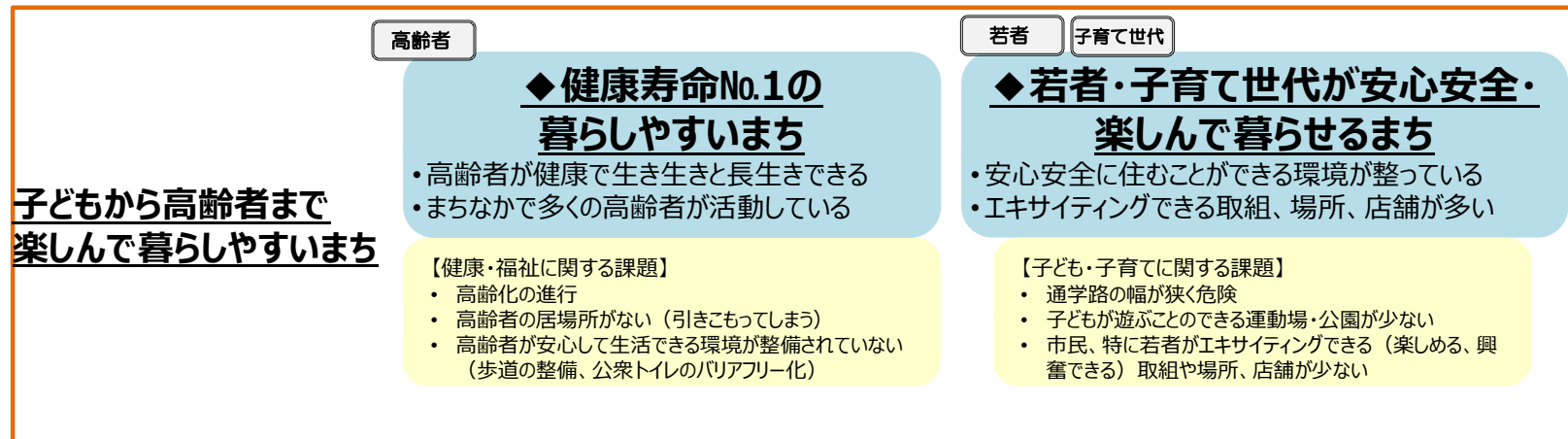
自転車の観光への活用

観光客

市民

東御市がどのようなまちになってほしいですか？

テーブル：③



4. ホームワークのやりかたについて

今回のホームワークでは、みなさまに、1回目のワークショップで挙げられた“課題が解決された状態”に向けて、民間や行政がどのようなことができるのかを考えて、ワークシートにご記入いただきたいと思います。

【やり方】

① ベースにするワークの結果を選ぶ

「ワークの結果」から、ご自身が参加されていたテーブルの結果を選んで、ホームワーク用紙にテーブル番号をお書きください。

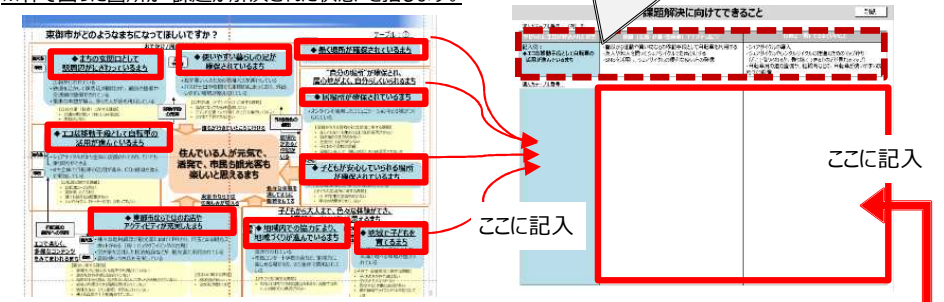
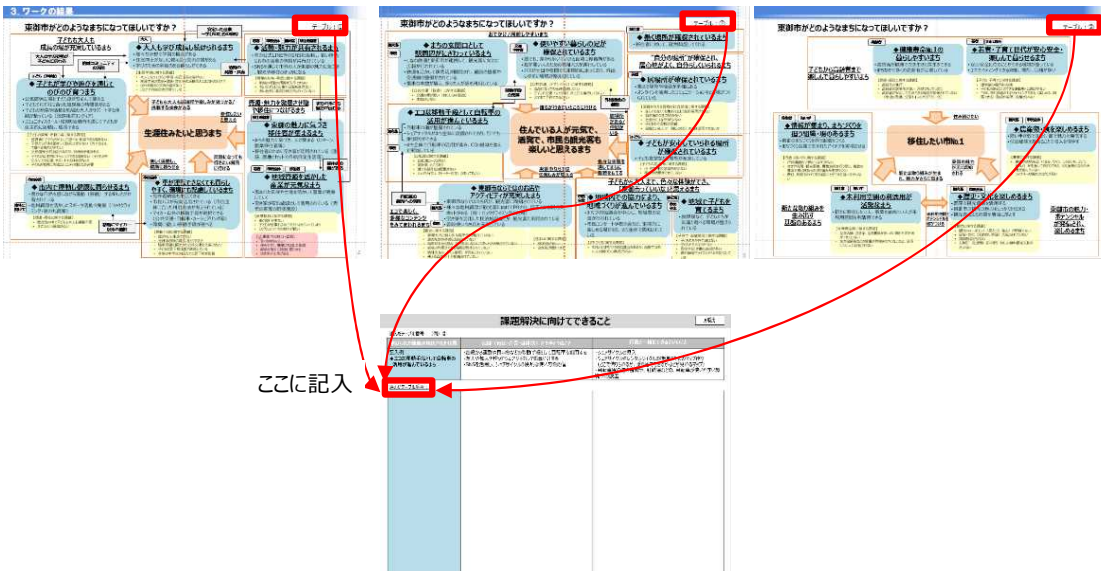
※1回目に参加していない方は、自由にテーブル番号をお選びください。

② “課題が解決された状態”に向けて、民間や行政がどのようなことができるのかを考える

「ワークの結果」にある“課題が解決された状態”をホームワーク用紙に記入してください。

“課題が解決された状態”に向けてできることは、こちらに記載の記入例を参考にお書きください。

※枠で囲った箇所が“課題が解決された状態”を指します。



そのうえで、「民間（市民・企業・団体等）できそうなこと」、「行政と一緒にできること」について思いうかぶアイデアをお書きください。（※その際に、すべての“課題が解決された状態”に対してお書きいただく必要はありません。）

ホームワークの〆切日：2月14日（月）
東御市までお送りください。



ワークにご参加いただき、
ありがとうございます。

頂いたアイデアはまとめさせていただき、
2/21(月)頃に送付させていただきます。